

## 令和4年度 芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	高校音楽Ⅱ 改訂版 Music View (教育出版)						
副教材等	自主教材プリント						

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の4つの分野を年間通して学習します。
- ・音楽がどのように形づくられ、そしてそれをどう感じて表すのかについて学習を進めていきます。友だちとともに音楽を分かち合い、音楽を通して様々なことを学んで行きましょう。
- ・日本及び世界の様々な音楽にふれ、楽曲そのものだけでなく、その背景となる文化や歴史についても理解を深め、広い音楽的視野を身につけていきます。
- ・実技テストは授業中に発表形式で行います。お互いに聴き合うことで他人の表現を知り、刺激を受け、受け止めることで感性を広げて、今後の音楽表現に生かしていきましょう。

## 2 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

## 3 学習評価（評価の観点の趣旨）

## a: 音楽への関心・意欲・態度

楽曲の曲想や背景との関わり、曲想を生み出している音楽的な特徴に関心を持ち、演奏したり鑑賞したりする学習に主体的に取り組もうとしている。

評価方法……観察

演奏発表

## b: 音楽表現の創意工夫

楽譜に書かれていることをそのまま再現するように演奏するだけでなく、表現したい音楽のイメージを膨らませながら、楽曲にふさわしい音楽表現を工夫し、思いや意図をもって演奏する。

評価方法……観察

演奏発表

## c: 音楽表現の技能

創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付けるとともに、創造的に表現に結び付けて演奏する。

評価方法……演奏発表

ワークシート

## d: 鑑賞の能力

様々な音楽を聴き、それぞれの音楽がもつよさや美しさを味わう。文化的・歴史的背景などの特徴から音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴く。

評価方法……観察

ワークシート

鑑賞の記録

★上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

A...達成した B...概ね達成した C...課題を残した D...多くの課題を残した

学期	学習項目	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価基準 (生徒の到達目標)	評価方法	
				a	b	c	d			
1 学期	歌唱 「糸」（混2） 「道」（混2） 「夢やぶれて」（斉唱）	発音の仕方による表現上の効果		○		○	/	a 歌詞の内容と、音楽を形づくっている要素との関わりに興味・関心をもっている。 b 歌詞の内容を伝えるため、発音の仕方を工夫している。 c 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察等 演奏発表 ワークシート	
		歌詞の内容と音楽を形づくっている要素の働きを理解				○	/			
		表現の工夫			○		/			
	歌唱・器楽 「島人の宝」	視奏力 (リコーダー、キーボード、ピアノ、打楽器)					○	/	a 音色や編成の違いによる表現効果に、興味・関心をもっている。 b 各楽器の音色や、楽器編成の特徴を生かした器楽の表現を工夫している。 c 音色と各楽器の役割を意識し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察等 演奏発表 ワークシート
		音色や演奏形態による表現効果の違い		○		○	/			
		楽器の編成による効果		○		○	/			
		合奏の表現の工夫			○	○	/			
	鑑賞 ★世界の音楽 「アジア」	楽曲の文化的・歴史的背景の理解 (社会の変化、文化の発展、近隣地域の影響など)		○	/	/	/	/	a 文化的・歴史的背景における音楽の特徴に、興味・関心を持ち、積極的に感じ取っている。 d 聴き取ったことと感じ取ったことを結び付けて、楽曲の特徴や音楽文化について言葉で表している。	観察等 鑑賞の記録
		音楽文化に対する理解 (人間の生活と音楽の関わりに着目)		○	/	/	/	/		
		演奏形態や音楽の諸要素を根拠として、音楽のよさを感じ、言葉で表現		○	/	/	/	○		

2 学 期	<b>歌唱</b> 「Best Friend」 「青いベンチ」 (2部) 「青春の輝き」 「Sogno」(独唱)	曲種に応じたふさわしい発声		○	○	a 曲種に応じた発声の違いを理解し、興味・関心をもっている。 b 表現形態による歌唱の特徴を感じ取り、表現を工夫している。 c 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察等 演奏発表 ワークシート	
		表現効果の違い			○			○
		表現の工夫 (グループ又は個人)			○			○
	<b>器楽</b> <リコーダー> 「イエステディ ワンスモア」 (2部) 「コンドルは 飛んで行く」 (3部)	音色、テクスチュアを意識		○	○	a 表現したい内容を他者に伝え、アンサンブルの活動に積極的に参加している。 b 音色やテクスチュアを意識して、アンサンブルにおける表現を工夫して演奏している。 c 自分たちの表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察等 演奏発表 ワークシート	
		音の響きを感受		○				
		曲のイメージを伝えられるように、アンサンブルにおける表現の工夫(グループ)			○			○
	<b>器楽</b> <ギター> <b>創作</b> 「ポルカ」 (4重奏)	音楽を形づくっている要素の働きを理解		○	○	a 音楽を形づくっている要素の働きを意識し、ギターアンサンブルにおける表現に興味・関心をもっている。 b 音楽を形づくっている要素の働きを理解して、効果的な表現を工夫している。 c 考えた内容を演奏を通じて表現する技能を身に付けている。	観察等 演奏発表 ワークシート	
		テンポや強弱など音楽を形づくっている要素のアレンジ		○	○			
		アンサンブル表現の工夫 (グループ)			○			○
	<b>鑑賞</b> ★世界の音楽 「ヨーロッパ ～アフリカ ～アメリカ」	楽曲の文化的・歴史的背景の理解(社会の変化、文化の発展、近隣地域の影響など)		○		a 文化的・歴史的背景における音楽の特徴に、興味・関心を持ち、積極的に感じ取っている。 d 聴き取ったことと感じ取ったことを結び付けて、楽曲の特徴や音楽文化について言葉で表している。	観察等 鑑賞の記録	
		音楽文化に対する理解 (人間の生活と音楽の関わりに着目)		○				
		演奏形態や文化・歴史の背景、音楽の諸要素を根拠として、音楽のよさを感じ、言葉で表す		○				○

3 学 期	歌唱 「Remember Me」(ア・カペ ラ4部)	歌詞の内容の理解		○			a 自分たちの表現を、人 に伝えられるように演奏 するということに興味・ 関心をもっている。 b 発音の仕方やふさわし い発声、歌詞の内容と音 楽を形づくっている要素 の働きを意識して、創造 的に表現を工夫してい る。 c 表現したいことを伝え るための歌唱の技能を身 に付けている。	観察等 演奏発表 ワークシート
		音楽を形づくっている 要素を理解		○		○		
		表現の工夫と、人に伝 えるための歌唱の技能			○	○		
器楽<ギター> 「空も飛べる はず」	ギターコードの基礎的 な奏法					○	a コード奏法を理解し、 弾き語りの表現に興味・ 関心をもっている。 b コードの多様な音の響 きを意識して、表現を工 夫している。 c 表現したいことを伝え るための弾き語りの技能 を身に付けている。	観察等 演奏発表 ワークシート
		コード奏法の多様な音 の響きを感じ		○				
		表現の工夫			○	○		
鑑賞 ★世界の音楽 「日本」	楽曲の文化的、歴史的 背景の理解 (社会の変化、文化の 発展、近隣地域の影響 など)		○				a 文化的・歴史的背景に おける日本の伝統音楽の 特徴に、興味・関心をも ち、積極的に感じ取って いる。 d 聴き取ったことと感じ 取ったことを結び付け て、楽曲の特徴や音楽文 化について言葉で表して いる。	観察等 鑑賞の記録
		日本の伝統音楽文化に 対する理解(人間の生 活と音楽の関わりに着 目)		○				
		演奏形態や文化・歴史 の背景、音楽の諸要素 を根拠として、音楽の よさを感じ、言葉で 表す		○		○		

※年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重みを付けて行う観点)について○を付けている。